第15回 大動脈 ステントグラフト 研究会

日時

2011年6月11日(土) 13:30~

同日に第17回日本血管内治療学会総会が開催されております。

会場

万国津梁館「オーシャンホール」

沖縄県名護市喜瀬1792番地 TEL:0980-53-3155

※開催当日に受付にて参加会費を申し受けます。

GRAFT

当番幹事×

名古屋大学大学院医学系研究科 血管外科

古森 公浩

[事務局]

奈良県立医科大学放射線医学教室内 〒634-8522 奈良県橿原市四条町840 TEL:0744-29-8900 FAX:0744-24-1988 E-mail: rad@naramed-u.ac.jp

共催:大動脈ステントグラフト研究会 第一三共株式会社 ●開会の辞 13:30~13:35

名古屋大学大学院医学系研究科 血管外科 古森 公浩 先生

セッション I 13:40~15:10

司 会 久留米大学医学部 外科学 田中 厚寿 先生 コメンテーター 奈良県立医科大学 放射線科 東浦 渉 先生

- 1. EVAR後のType II エンドリークに対しNBCAを用いた塞栓術を行った1例 長崎大学 放射線科¹、心臓血管外科² 末吉英純¹、長山拓希¹、坂本一郎¹、谷口真一郎²、橋詰浩二²、上谷雅孝¹、江石清行²
- 2. 腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術後、中枢ネックの拡張とgraft migrationを伴った 持続性type-2 endoleakに対し、TAEを行った一例 愛知医科大学 血管外科¹、放射線科² 只腰雅夫¹、石橋宏之¹、折本有貴¹、肥田典之¹、山田哲也¹、岩田博英¹、杉本郁夫¹、石口恒男²、太田 敬¹
- 3. Zenith術後のtypelエンドリークに対するPalmaz XLステント治療 横浜市立大学付属市民総合医療センター 心臓血管センター 外科¹、横浜市立大学 外科治療学² 安田章沢¹、内田敬二¹、南 智行¹、杉浦唯久¹、白井順也¹、風間慶祐¹、井元清隆¹、益田宗孝²、
- 4. EVAR後のtype2エンドリークに対し経動脈塞栓術後に腸腰筋麻痺を発症した一例 札幌医科大学 第二外科¹、高度救命救急センター² 小柳哲也¹、仲澤順二¹、柳清洋佑¹、前田俊之¹、伊藤寿朗¹、川原田修義¹、栗本義彦²、樋上哲哉¹
- 5. 腹部大動脈瘤に対するendovascular aneurysm repair (EVAR) 後のtype II endoleakに対し NBCA-LPDを用い経動脈的塞栓術を施行した1例 大分大学医学部 放射線医学¹、心臓血管外科学² 本郷哲央¹、首藤利英子¹、道津剛明¹、亀井律孝¹、松本俊郎¹、森 宣¹、宮本伸二²、嶋岡 徹²、和田朋之²
- 6. EVAR (Zenith) 後の上腸間膜動脈第一空腸枝から辺縁動脈 − 下腸間膜動脈を介し増大傾向となった type II エンドリークに対し、コイル塞栓 + NBC注入を行った1例 いわき市立総合磐城共立病院 心臓血管外科¹、獨協医科大学越谷病院 放射線科² 近藤俊一¹、片田芳明²、山部剛史¹、近藤太一¹、廣田 潤¹
- 7. 感染性腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術後、瘤径拡大に対し経動脈的塞栓術を施行した1例 山口県立総合医療センター 外科 佐村 誠、善甫宣哉、岡崎充善、金山靖代、宮崎健介、松尾光敏、金田好和、須藤隆一郎、野島真治

セッション II 15:15~16:45

司 会 大分大学医学部 心臓血管外科 宮本 伸二 先生 コメンテーター 山口県立総合医療センター 外科 善甫 宣哉 先生

1. 逆漏斗型腹部大動脈瘤にパワーリンク(Powerlink)留置後typel endoleakを認め、

その後ゼニス (Zenith) を留置した一例

東京歯科大学市川病院 血管外科、外科

片山 正、原田裕久、松井淳一、佐藤道夫、小川信二、高山 伸、星本相淳、浅原史卓、川口新治、安藤暢敏

2. 屈曲した中枢ネックに対する腹部ステントグラフト機器選択と工夫

久留米大学医学部 外科学

新谷悠介、鬼塚誠二、田中厚寿、大野智和、奈田慎一、飛永 覚、澤田健太郎、岡崎悌之、福永周司、廣松伸一、明石英俊、青柳成明

3. 両側外腸骨動脈の狭小化に、PTAでもシースが入らず後腹膜アプローチで露出した外腸骨動脈からシースを挿入したEVARの1例

千葉県循環器病センター 心臓血管外科

林田直樹、浅野宗一、平野雅生、鬼頭浩之、大場正直、杉本晃一、松尾浩三、村山博和

4. 腹部大動脈瘤ステントグラフト内挿術後に生じた播種性血管内凝固症候群の1例

川崎医科大学 心臓血管外科

柚木靖弘、正木久男、田淵 篤、久保陽司、滝内宏樹、久保裕司、種本和雄

5. 高度屈曲を呈した下行大動脈瘤に対してTEVARを施行し術後distal Type I エンドリークを認め TEVARを追加した1例

近畿大学医学部奈良病院 心臟血管外科1

京都府立医科大学附属病院 心臓血管外科2

神戸労災病院 心臓血管外科3

森嶌淳友¹、岡 克彦²、井上享三³、吉田雄一¹、平間大介¹、長阪重雄¹、曽我欣治¹、横山晋也¹、金田幸三¹、西脇 登¹

6. Excluderのdeployment stringが断裂し、同側legの展開が不完全になった一例

奈良県立医科大学 放射線科1、胸部心臓血管外科2

市橋成夫1、東浦 渉1、伊藤博文1、吉川公彦1、多林伸起2、谷口繁樹2

7. 遅発性におこった末梢タイプ I エンドリークによる腹部大動脈瘤破裂の1例

名古屋大学大学院 血管外科

井原 努、森崎浩一、宮地紘樹、玉井宏明、前川卓史、高橋範子、渡辺芳雄、森前博文、児玉章朗、成田裕司、 坂野比呂志、小林昌義、山本清人、古森公浩

●閉会の辞 16:50

奈良県立医科大学 放射線科 吉川 公彦 先生

共催:大動脈ステントグラフト研究会 第一三共株式会社